

目次

第1章 計画の概要	3
計画の概要	4
1. 背景と目的	4
2. 計画の位置付け	4
3. 計画期間	8
4. 計画区域	8
第2章 現状と課題	9
益田市の現状	10
1. 位置及び地勢	10
2. 人口の動向	11
3. 移動の状況	14
4. 自動車運転免許証返納	14
5. 観光	15
6. 施設の分布	18
地域交通の現状	20
1. 公共交通	20
2. スクールバス・スクールタクシー	21
3. 公共交通の利用状況	24
4. 行政の財政負担額	33
5. 自動車運送事業（バス・タクシー）の運転士の状況	34
公共交通に対する市民の意向等	35
1. 市民アンケート調査	35
2. 高校生アンケート調査	53
3. まちづくりラウンドテーブル	60
益田市の公共交通の課題	62
第3章 基本方針 基本目標 目標達成に向けた施策	67
基本方針・基本目標・目標達成に向けた施策	68
1. 基本方針	68
2. 基本目標	68
3. 目標達成に向けた施策	71
第4章 計画の評価と進行管理	87
計画の評価と進行管理	88
1. 評価指標と目標値の設定	88
2. 推進体制	89
3. 進捗管理	89
資料編	91

第3章






基本方針

基本目標

目標達成に向けた施策

基本目標 1 市民の日常生活やまちづくりを支える地域公共交通網の形成

事業① 本市と近隣自治体を結ぶ広域間の公共交通の維持

実施主体	行政、交通事業者、関係団体、地域住民				
実施時期 (年度)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
					
	継続した見直し	継続した見直し	継続した見直し	継続した見直し	継続した見直し

1. 広域な都市間移動手段の確保・維持

市町を跨ぐ路線は、益田市と隣接する市町を結ぶ幹線として、市外への通学・通勤手段として重要な役割を担っています。

このことから、市外への移動ニーズに対応するため、国、県、近隣市町と連携し、鉄道並びに路線バスの維持・存続に努めます。

路線バスについては、幹線補助を維持することにより、地域住民の移動手段が確保され、それにあわせて、市内路線バスや乗合タクシー等の生活交通の維持が持続することを目指し、国や県の補助制度(地域公共交通確保維持改善事業費補助金等)を活用し、路線の維持確保に努めます。

また、萩・石見空港と本市の中心地を結ぶ路線バス、近隣市町へは乗合タクシーをそれぞれ運行することで、空港利用者の利便性を高めるよう努めます。

鉄道については、島根県鉄道整備連絡調整協議会、山口線利用促進協議会等を通じて利用促進を図り、維持・存続に努めます。

【国庫補助】地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

補助対象事業者：石見交通株式会社

補助対象系統：下記の路線において、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金要綱に定める要件に適合する系統。
(津和野線、浜田益田線、小浜江崎線、都茂線、匹見線)

2. 乗継・待合環境の改善検討

広域間・地域間・地域内の公共交通が接続し、人々がスムーズに移動できるように、交通事業者と市が連携を図りながら、運行ルートの見直し等を検討するとともに、それぞれのダイヤ改正の情報については、複数の交通機関間で情報を共有し、乗り継ぎの利便性の向上に努めます。

3. 地域・住民と連携した利用促進

市民が公共交通について、「自ら利用し、乗って残すもの」という意識醸成かつ利用促進につながるよう、意見交換会や様々なイベントでの交通関係ブースの出展などを市民・交通事業者・行政等が連携して実施します。

【具体例】

- 公共交通の乗り方教室、公共交通をテーマとしたワークショップの開催など
- ノーマイカー運動への参加の呼びかけ

第4章

計画の評価と進行管理

計画の評価と進行管理

1. 評価指標と目標値の設定

本計画では、3つの基本目標と10事業を位置付けました。各事業の効果は、相互に関連すると想定されることから、事業ごとではなく、3つの目標に応じた評価指標を設定します。

基本目標1 市民の日常生活やまちづくりを支える地域公共交通網の形成

指標	目標値	近況値（令和2年度）		備考
市内の公共交通の利用者数	554,000人	路線バス	547,154人	《参考》令和2年度の民間路線バス・生活バス・過疎バス・乗合タクシーの年間利用者数の合計値：553,701人
		生活バス	4,056人	
		過疎バス	300人	
		乗合タクシー	2,191人	

○利用者数の集計期間

路線バス：前年度の10月から該当年度の9月まで

生活バス・過疎バス・乗合タクシー：該当年度の4月から3月まで

基本目標2 利用しやすい地域公共交通サービスの提供

指標	目標値	近況値（令和2年度）		備考
公共交通の満足度 (5.0点満点)	3.0	鉄道	2.9	《参考》令和2年度に実施した地域公共交通に関する市民アンケートの満足度に関する回答結果の平均値：2.9
		路線バス	3.0	
		乗用タクシー	3.2	
		高速バス	2.9	
		コミュニティバス	2.6	

○満足度の算出方法

令和2年度に実施した地域公共交通に関する市民アンケート調査の質問「公共交通の利用状況と満足度（P.41～を参照）」の結果を基に算出。

「鉄道」「路線バス」「乗用タクシー」「高速バス」「コミュニティバス」の各項目ごとに、満足=5点、やや満足=4点、普通=3点、やや不満=2点、不満=1点として、各回答を重みづけし、回答数で除した値をごとに算出し、平均する。

基本目標3 持続可能な地域公共交通の仕組みづくり

指標	目標値	備考
モビリティ・マネジメント等の開催回数	4件/年	乗り方教室、ワークショップ、出前講座などの実施回数